

今「ひきこもり」から 考える

～コロナ禍で見えてきたこと～

令和4年 9月25日(日)

開場 13:30 開演 14:00~16:00

入場
無料

子規記念博物館講堂

(愛媛県松山市道後公園1-30)

申込期限 9月18日(日)

主催 社会福祉法人 愛媛いのちの電話



駐車台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

講師 松山大学人文学部教授

石川良子氏



講師略歴

松山大学人文学部教授。1977年、神奈川県生まれ。専門は社会学・ライフストーリー研究。2000年代初頭から「ひきこもり」の調査研究を行っている。おもな著者に『「ひきこもり」から考える―聴くから始める支援論』(ちくま新書)、『「ひきこもり」の〈ゴール〉―「就労」でもなく「対人関係」でもなく』(青弓社)、『ひきこもりと家族の社会学』(世界思想社、共著編)、『ライフストーリー研究に何ができるか』(新曜社、共著編)がある。



愛媛いのちの電話と一緒に活動してみませんか？（Q&A）

Q1

電話相談ってどんなことをするの？

相談者の話を聴くことです。「聞く」は簡単ですが、「聴く」は意外に難しいものです。自分自身の成長につながります。



Q2

子育てや介護をしていますが、できるかしら？

主婦の方も多く参加しています。ここで傾聴について学んだことは家庭でも役にたつでしょう。



Q3

フルタイムの仕事ですが、できる？

夜や休日の担当枠がありますので、月2回程度都合の良い時間帯でできます。



Q4

専門知識がなくても、なれる？

大丈夫です。社会貢献や傾聴に関心がある方ならなれます。必要なことは、講師陣が養成講座で丁寧に教えてくれます。



Q5

電話相談以外にどんな活動があるの？

毎月、専門家を交えたグループで、相談員の傾聴力を高めるための研修をしています。また、会を運営するための委員会活動があり、仕事や趣味・特技を生かして、広報誌を作ったりイベントを企画したりもします。年に数回、講演会や講習会、相談員全国研修会があり、より深く学び、広いつながりを持つことができます。



愛媛いのちの電話 自殺予防公開講演会

「今「ひきこもり」から考える ～コロナ禍で見えてきたこと～」

**FAX
申込書**

申込期限 **9月18日** 日

089-958-2014

※ファクシミリの方は下記ご記入のうえ、そのまま送信してください

申込方法

参加ご希望の方は、「公開講演会」、氏名(ふりがな)住所(郵便番号)、電話番号を明記のうえ、ハガキ、ファクシミリ、メールにて下記事務局までお申込みください。

申込先

社会福祉法人愛媛いのちの電話 事務局 〒790-8691 松山中央郵便局私書箱158号
FAX 089-958-2014 E-Mail ehime-1111@e-inochi.jp

お名前			
電話番号		FAX	
ご住所	〒	希望人数	
	メールアドレス	名	